

院内フォーミュラリ(第二世代抗ヒスタミン薬)

院内フォーミュラリ 推奨区分	推奨	オプション	オプション	オプション	オプション
商品名	フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「トーワ」	エピナスチン塩酸塩錠20mg「ケミファ」	ベボタスチンベシル酸塩OD錠10mg「タナベ」	レボセチリジン塩酸塩錠5mg「武田テバ」	デザレックス錠5mg
一般名	フェキソフェナジン塩酸塩錠	エピナスチン塩酸塩錠	ベボタスチンベシル酸塩口腔内崩壊錠	レボセチリジン塩酸塩錠	デスロラタジン錠
規格	60mg	20mg	10mg	5mg	5mg
適応	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒	○気管支喘息 ○アレルギー性鼻炎 ○じん麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹、そう痒を伴う尋常性乾癬	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患に伴うそう痒(湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症)	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症	○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹 ○皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒
用法・用量	1回60mgを1日2回	<気管支喘息、じん麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹、そう痒を伴う尋常性乾癬> 1回20mgを1日1回経口投与 <アレルギー性鼻炎> 回10~20mgを1日1回経口投与	1回10mgを1日2回経口投与	1回5mgを1日1回、就寝前	1回5mgを1日1回経口投与
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	○本剤の成分又はピペラジン誘導体(セチリジン、ヒドロキシジンを含む)に対し過敏症の既往歴のある患者 ○重度の腎障害(クレアチニンクリアランス10mL/min未満)のある患者	本剤の成分又はロラタジンに対し過敏症の既往歴のある患者
腎機能による 用量調整	添:記載なし	添:記載なし	腎機能障害のある患者には、低用量(例えば1回量5mg)から投与するなど慎重に投与し、異常が認められた場合は減量、休業するなど適切な処置を行う	CCr ≥80: 5mgを1日1回 50~79: 2.5mgを1日に1回 30~49: 2.5mgを2日に1回 10~29: 2.5mgを週に2回(3~4日に1回)	添:記載なし
妊婦又は 妊娠している可能性のある女性※	添:有益性投与	添:有益性投与	添:有益性投与	添:有益性投与	添:妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、投与を避けることが望ましい
授乳婦	添:治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。 Hale: L2-限定的データ-おそらく適合	添:治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。 Hale: L3-データなし-おそらく適合	添:治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。 Hale: 記載なし	添:治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。 Hale: L2-データなし-おそらく適合	添:治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。 L2-限定的データ-おそらく適合
運転について	記載なし(運転能力及ばず影響は第一世代の抗ヒスタミン薬に比べ有意に小さく、プラセボと同様)	眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に <b>注意させること</b>	眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には <b>注意させること</b>	眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には <b>従事させない</b> よう十分注意すること	記載なし(デスロラタジン服用後の眠気、精神運動機能及び自動車運転能力に対する影響はプラセボ服用後と同程度)
会社名	東和	日本薬工=ケミファ	ニプロ	武田	オルガノン=杏林
薬価	23.10円	18.20円	10.70円	14.60円	38.70円
薬剤費概算 1ヶ月(30日) あたり	120mg/日の場合 1,386円(10割) 416円(3割) 139円(1割)	20mg/日の場合 546円(10割) 164円(3割) 55円(1割)	20mg/日の場合 642円(10割) 193円(3割) 64円(1割)	5mg/日の場合 438円(10割) 131円(3割) 44円(1割)	5mg/日の場合 1,161円(10割) 348円(3割) 116円(1割)
採用区分	院内外共通 院外は一般名処方	院内外共通 院外は一般名処方	院内外共通 院外は一般名処方	院内外共通 院外は一般名処方	院内外共通
先発・後発区分	後発品	後発品	後発品	後発品	先発品

2025/12/18

薬事委員会作成

※添:添付文書、妊:妊娠と授乳、Hale:ヘイル薬と母乳より引用。Hale分類についての詳細は電子カルテトップ→DIニュース→お役立ち情報「妊娠・授乳婦と薬」を参照